

4. 各種財政指標の状況

①経常収支比率

- ・ 扶助費等の経常的支出が増加したことに加え、所得譲与税の減少により経常的収入が減少したことにより上昇した。

②地方債現在高

- ・ 普通建設事業費の縮減により発行額を抑制した結果、引き続き減少した。

(単位：百万円)

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
経常収支比率	86.8%	91.0%	88.6%	94.1%	94.9%
前年比	0.5%	4.2%	▲ 2.4%	5.5%	0.8%
地方債現在高	1,018,348	1,049,337	1,051,767	1,037,230	1,022,978
前年比	34,539	30,989	2,430	▲ 14,537	▲ 14,252

※地方債現在高は特定資金公共投資事業債（N T T債）を除く。

○経常収支比率…財政構造の弾力性をみる指標

= 経常的な経費に充当した一般財源 ÷ 経常的な一般財源としての収入

※経常収支比率は80%を上回らないことが望ましいとされている。